



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年10月1日

上場会社名 株式会社 ニューテック 上場取引所 東
 コード番号 6734 URL <http://www.newtech.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠原 康人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 宮崎 有美子 TEL 03-5777-0888
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

百万円未満切捨て

1. 平成27年2月期第2四半期の業績（平成26年3月1日～平成26年8月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	869	△13.6	△56	—	△63	—	△65	—
26年2月期第2四半期	1,006	17.2	21	—	19	167.4	18	256.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	△34.33	—
26年2月期第2四半期	9.54	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	2,645	925	35.0
26年2月期	2,614	1,008	38.6

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 2,645百万円 26年2月期 2,614百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,120	0.3	35	△57.9	22	△69.1	17	△76.2	9.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期2Q	2,081,000株	26年2月期	2,081,000株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	164,195株	26年2月期	164,195株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期2Q	1,916,805株	26年2月期2Q	1,916,805株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料の「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、消費税増税後の消費の落ち込みが懸念されましたが、業種により一過性の消費低迷はあったものの、円安傾向が続いた結果、国内景気は大手輸出企業を中心に業績は堅調に推移しており緩やかに回復しつつあります。但し、夏場の天候不順による消費低迷及び物価の値上がり等、新たな懸念材料も抱えており、景気先行きは不透明であります。当第2四半期累計期間における、国内IT関連投資に関しても、設備投資需要の回復により順調に推移しております。

このような環境の下、当社ではOEM製品について、独立した組織の強化に注力し、事業拡大とともに、新規のOEM先を開拓し、更に相手先の仕様に合わせカスタマイズされたOEM製品の拡充に努めてまいりました。一方、主力製品の機能強化、ストレージ製品の高付加価値化に寄与するソリューション販売（サーバー、ストレージ及びソフトウェアを組み合わせて、システムとして納入する販売形態）の販売強化及びサポート・サービスの充実には継続して取り組んでおります。また、小規模オフィス向け小型NASのOEM先への販売は順調に伸びております。

この様な状況の中、当第2四半期累計期間の売上高は869百万円（前年同期比13.6%減）となりました。

製品売上に関しては、OEM向けの製品（ミラー製品、小型NAS製品）の出荷は394百万円（前年同期比4.7%減）と前年の大口案件を含んだ売上高対比では減少したものの、実質18%の伸びがありました。

主力製品Supremacyシリーズについては、後継機種を開発中であり、RAIDの販売は現行機種により128百万円（前年同期比29.3%減）と苦戦しました。その結果、ストレージ本体及び周辺機器を含む製品売上高は652百万円（前年同期比15.4%減）と減少しました。また、サービス売上は、ストレージ本体の伸び悩みにより、新規の保守契約が減少し126百万円（前年同期比6.1%減）となりました。

一方、損益面につきましては、売上高が前年を下回ったことと利益率の低いOEM製品の構成比が増加したことで、売上総利益率は2.4ポイント低下し、売上総利益203百万円（前年同期比21.4%減）、営業損失56百万円（前年同期は営業利益21百万円）、経常損失63百万円（前年同期は経常利益19百万円）、四半期純損失65百万円（前年同期は四半期純利益18百万円）と大幅な減益となりました。

品目別の売上高は、次のとおりであります。

品目別	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		前事業年度	
	自平成25年3月1日 至平成25年8月31日		自平成26年3月1日 至平成26年8月31日		自平成25年3月1日 至平成26年2月28日	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前期比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
ストレージ本体	734	38.4	613	△16.5	1,481	23.2
周辺機器	36	48.8	38	6.1	79	△7.4
製品小計	770	38.9	652	△15.4	1,560	21.2
商品	99	△35.8	90	△9.5	277	△23.4
サービス	135	△8.4	126	△6.1	275	△6.9
合計	1,006	17.2	869	△13.6	2,113	8.6

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して30百万円増加し2,645百万円となりました。変動の主なものは、現金及び預金の210百万円の増加、売上債権等の168百万円の減少等であります。

負債は、前事業年度末と比較して114百万円増加し1,720百万円となりました。変動の主なものは、流動負債は買掛債務の97百万円の減少等であり、固定負債は長期借入金金の223百万円の増加等によるものであります。

純資産は、前事業年度末と比較して83百万円減少し925百万円となりました。変動の主なものは、四半期純損失65百万円の計上及び配当金の支払い19百万円によるものであります。自己資本比率は35.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べ210百万円増加の1,853百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は6百万円(前年同期は21百万円の収入)となりました。主な資金増加要因は、売上債権の減少168百万円等であり、主な資金減少要因は、税引前四半期純損失63百万円、仕入債務の減少97百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1百万円(前年同期は1百万円の使用)となりました。これは、有形固定資産の取得等1百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は205百万円(前年同期は83百万円の収入)となりました。これは、長期借入金の純調達225百万円、配当金の支払い19百万円があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間につきまして、平成26年9月26日に第2四半期累計期間及び通期業績予想を修正しております。詳しくは平成26年9月26日公表の「平成27年2月期第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

・一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

・たな卸資産の評価方法

当第2四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

② 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,643,398	1,853,748
受取手形及び売掛金	480,638	311,780
商品及び製品	61,227	47,061
仕掛品	60,461	63,221
原材料	171,627	182,019
その他	85,122	78,390
貸倒引当金	△141	△141
流動資産合計	2,502,334	2,536,080
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	14,200	13,752
工具、器具及び備品(純額)	19,708	16,075
有形固定資産合計	33,909	29,828
無形固定資産		
その他	3,707	3,052
無形固定資産合計	3,707	3,052
投資その他の資産		
投資有価証券	50,887	52,750
差入保証金	19,859	19,859
その他	4,176	4,153
投資その他の資産合計	74,922	76,763
固定資産合計	112,538	109,643
資産合計	2,614,873	2,645,723
負債の部		
流動負債		
買掛金	170,818	72,851
1年内返済予定の長期借入金	470,663	471,817
未払金	31,985	29,668
未払法人税等	3,670	2,406
製品保証引当金	18,368	17,821
前受収益	289,782	299,479
その他	50,727	32,568
流動負債合計	1,036,015	926,613
固定負債		
長期借入金	564,421	788,272
資産除去債務	4,221	4,258
繰延税金負債	1,339	1,475
固定負債合計	569,981	794,005
負債合計	1,605,996	1,720,618

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	496,310	496,310
資本剰余金	516,925	516,925
資本準備金	105,515	105,515
その他資本剰余金	411,410	411,410
利益剰余金	72,442	△12,528
自己株式	△78,265	△78,265
株主資本合計	1,007,412	922,441
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,464	2,663
評価・換算差額等合計	1,464	2,663
純資産合計	1,008,877	925,104
負債純資産合計	2,614,873	2,645,723

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	1,006,066	869,602
売上原価	746,683	665,811
売上総利益	259,382	203,791
販売費及び一般管理費	238,142	260,189
営業利益又は営業損失(△)	21,239	△56,397
営業外収益		
受取利息	143	174
受取配当金	10	15
為替差益	4,562	923
その他	1,344	1,126
営業外収益合計	6,060	2,239
営業外費用		
支払利息	6,782	7,787
その他	1,331	1,084
営業外費用合計	8,113	8,871
経常利益又は経常損失(△)	19,186	△63,030
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	19,186	△63,030
法人税、住民税及び事業税	950	3,301
法人税等調整額	△52	△527
法人税等合計	897	2,773
四半期純利益又は四半期純損失(△)	18,289	△65,803

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	19,186	△63,030
減価償却費	10,056	6,836
受取利息及び受取配当金	△153	△189
支払利息	6,782	7,787
製品保証引当金の増減額(△は減少)	593	△547
売上債権の増減額(△は増加)	42,305	168,857
たな卸資産の増減額(△は増加)	△29,182	574
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,055	△97,966
その他	△12,077	△3,559
小計	30,454	18,762
利息及び配当金の受取額	153	189
利息の支払額	△6,984	△8,103
法人税等の支払額	△1,900	△4,607
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,723	6,240
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△835	△1,705
その他	△200	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,035	△1,705
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△50,400	—
長期借入れによる収入	400,000	525,000
長期借入金の返済による支出	△265,744	△299,995
配当金の支払額	△7	△19,190
財務活動によるキャッシュ・フロー	83,848	205,814
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	104,537	210,349
現金及び現金同等物の期首残高	1,399,507	1,643,398
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,504,044	1,853,748

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)

当社は、ストレージ(外部記憶装置)本体及び周辺機器の開発、製造、販売及び保守サービスを行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)

当社は、ストレージ(外部記憶装置)本体及び周辺機器の開発、製造、販売及び保守サービスを行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。